

水稲採種ほ場における乗用型水田除草機を用いた漏生イネ防除の省力化

利用対象：水稲採種生産者、普及指導員

- ①水稲の種子生産において非常に大きな負担がかかる漏生イネの抜き取り作業に対して、乗用型水田除草機の有効性について検討を行いました。
- ②移植約1か月後に水田除草機により除草を行ったところ、除草しなかった場合と比べて25%~45%程度、漏生イネを低減することができました。
- ③水田除草機による除草と手取りでの除草を組み合わせることにより、手取り除草のみに比べて漏生イネの抜き取りにかかる作業時間を40%程度削減することができます。
- ④移植作業時の行程間が狭いところがあると、除草機の走行時に欠株や欠損株の発生が多くなり、収量の低下や倒伏の発生につながる恐れがありますので、行程間は通常よりもやや広めに取るようにしてください。

表1 水田除草機による除草効果

実施年度	2020年		2021年		2022年		
	機械除草の有無	残草本数 (本/10a)	残草率 (%)	残草本数 (本/10a)	残草率 (%)	残草本数 (本/10a)	残草率 (%)
	有り	2,600	41	132	24	31	43
	無し	6,200	100	555	100	72	100

表2 漏生イネの抜き取りにかかる作業時間の比較

除草体系	機械除草 (分/10a)	手取除草 (分/10a)	計 (分/10a)	同左比 (%)
機械除草+手取	12	114	126	60
慣行)手取	0	211	211	100

注)試験圃場の漏生イネ発生程度は、5,000本/10a



除草機による除草作業の様子

お問い合わせ先	伊賀農業研究室 伊賀農業研究課 中央農業改良普及センター	山川智大 内山祐介	電話 0595-37-0211 電話 0598-42-6323
参考になる資料	https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm (三重農研HP)		